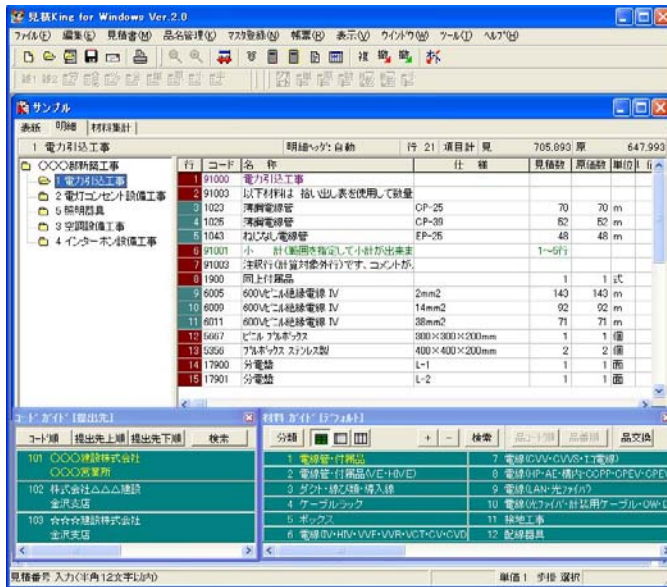


見積KING

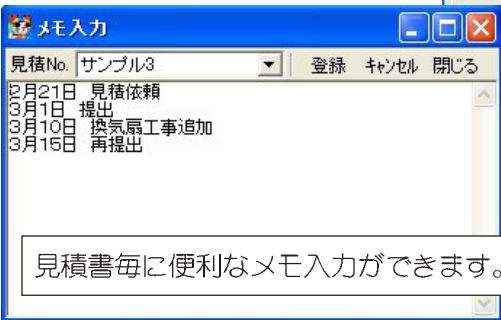
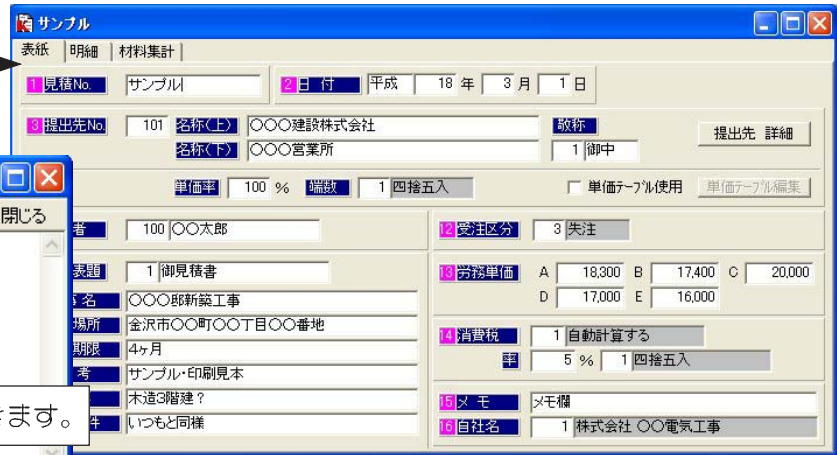


特徴及び仕様



見積書の入力表示を「タブ」で切り替え！！

見積書の表紙、明細の入力画面、材料集計画面をタブで切り替えます。



見積明細の入力・修正は1画面でOK！！

入力項目順を変更したり、幅を変えたり、表示する・しないの設定もできます。

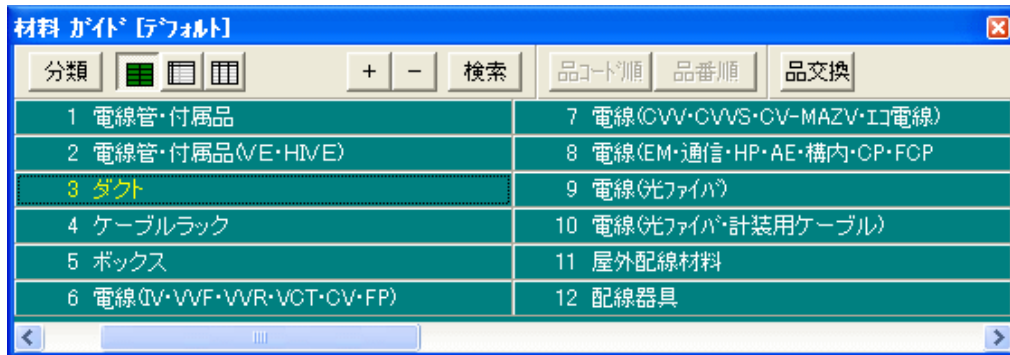
合計金額は明細を入力・修正にともない、瞬時に計算されるので、合計金額を考慮しながらの入力・修正が可能です。



工項目が多くなったり、階層が複雑になると、明細の修正も大変になりますが、そのような時に項目別見積の階層表示がとても便利です。左の工項目名称をクリックすると、右の入力画面に内訳明細が表示されます。

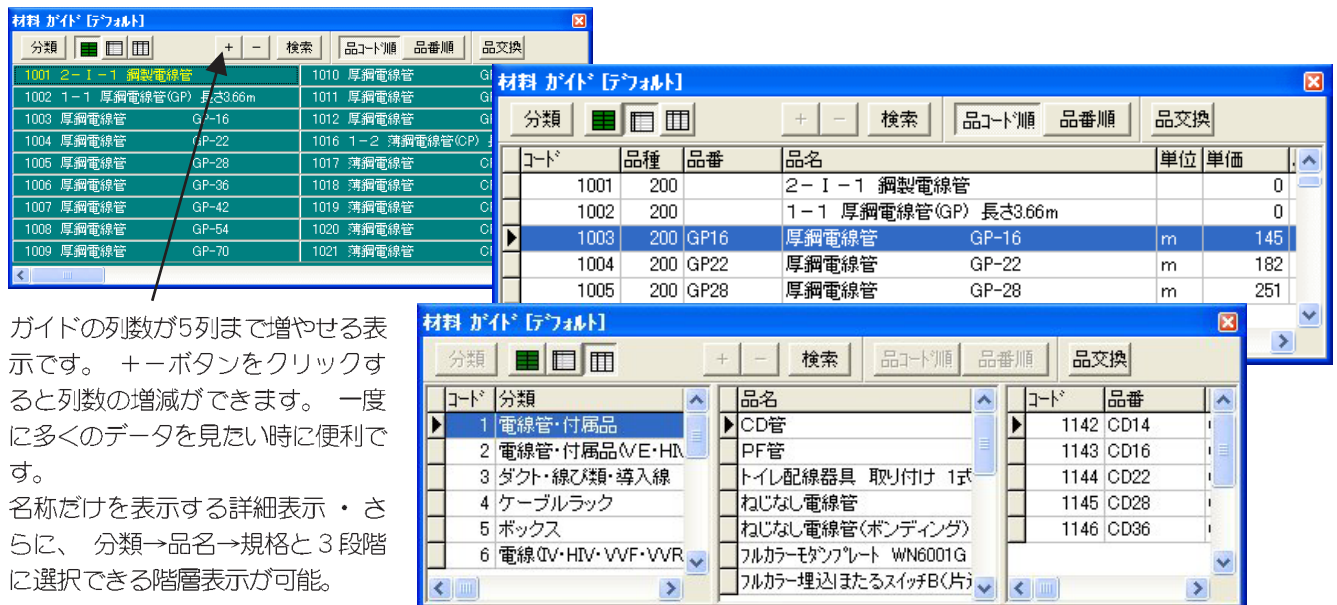
便利な材料ガイドを表示

明細入力中に登録されている材料や経費を選択するための多機能ガイド



表示行数・列数や表示場所にあわせて自由に変更
分類ボタンをクリックすると分類表示になります。

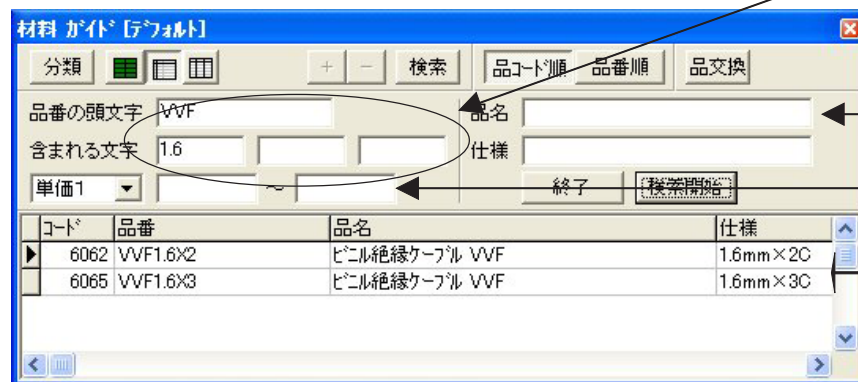
表示させたい分類をマウスでダブルクリックすると、その分類に登録されている商品が表示されます。



ガイドの列数が5列まで増やせる表示です。＋ボタンをクリックすると列数の増減ができます。一度に多くのデータを見たい時に便利です。

名称だけを表示する詳細表示・さらに、分類→品名→規格と3段階に選択できる階層表示が可能。

「検索」を使って特定の材料を絞り込むことができます。



検索は品番の先頭の文字や、品番の中に含まれる文字を指定できます。

品名に使用されている文字を指定して、あいまい検索可能。

単価の指定もできます。

検索で探し出された材料だけが表示されます。

検索は、品番や品名・仕様・材料単価で行うことができます。

検索時には、複数の条件を入力し、一致する材料を表示できます。

拾い出し数量入力画面搭載！！

図面から拾い出した数量を集計するための画面を使って、見積書の数量を計算できます。
拾い出し数量入力画面は、見積書の工事項目単位に作成でき、見積書と一緒に保存されます。

コード	品名仕様	式	歩掛歩掛名	1F		2F		3F		立面		その他		数量計	補給率
				数量	倍数	数量	倍数	数量	倍数	数量	倍数	数量	倍数		
1023	薄鋼電線管 CP-25		0.0700 随べい、二	25	1	15	1	12	1	7	1	5	1	64	
1025	薄鋼電線管 CP-39		0.1090 随べい、二	18	1	12	1	10	1	5	1	5	1	50	
1043	ねじなし電線管 EP-25		0.0560 随べい、二	21	1	4	1	4	1	10	1	5	1	44	
6005	600Vビニル絶縁電線 IV 2mm2		0.0100 管内配線	40	1	25	1	25	1	20	1	15	1	125	
6009	600Vビニル絶縁電線 IV 14mm2		0.0200 管内配線	30	1	10	1	15	1	15	1	10	1	80	
6011	600Vビニル絶縁電線 IV 38mm2		0.0320 管内配線	35	1	10	1	10	1	5	1	5	1	65	

1F・2F・3F・など、図面にあわせて数量入力箇所を追加できます。
入力した数量の合計に、あらかじめ設定した補給率を掛けて見積数量を計算します。
計算された見積数量は、そのまま見積書に転送出来る他、手入力で修正を加えて転送することも出来ます。
拾い出し数量入力画面で追加した材料も、見積明細に自動で追加されるので、同じ材料を2度入力する必要もありません。
拾い出し数量入力画面でも見積明細入力時と同様に、材料ガイドが使用できます。

「セット呼び出し」品番と「組合せ」品番

「セット呼び出し」

あらかじめ、10個までの材料・経費をセットしておき、見積書の明細作成時に、セットされている材料・経費を一度に呼び出せる便利な機能です。

「組合せ」

あらかじめ、10個までの材料・経費をセットしておき、見積書の明細では、1行で「1式」又は「1組」等で印刷されるが、社内用の資料（原価明細や材料集計表等）では、バラの材料・経費に展開されて表示・印刷できます。

組合せ品番は画面上でも修正（追加・変更等）可能です。

コード	名称	仕様
18067	防火タフター付ウェザーカバー	アルミ製 30cmf
18049	ウェザーカバー	30cm用 ステン
18114	トイレ用換気扇	家庭用・中間
18201	換気扇20cm (セット品番見本)	
18202	換気扇25cm (セット品番見本)	
186		
240		

組合せの内容は、画面上で確認・変更できます（見積書には印刷されません）。

組合せの材料が使われている時、その材料の項目の画面に階層表示されます。

コード	名称	仕様	歩掛	見
18018	台所一般用換気扇	連動式 20cm	0.200	
18047	ウェザーカバー	20cm用 ステンレス製	0.090	
18076	換気扇取付枠 木枠	20cm用		
18900	取付け費用			

提出先・材料別の単価率の設定が可能

1つの材料に対して最大5種類の固定単価を登録でき、明細入力時に単価を使い分ける事が出来ます。さらに、材料の品種（分類）ごとに、単価率を設定しておき、単価率を使って見積単価を作成することが出来ます。材料の品種（分類）ごとに設定した単価率を提出先別に持つことが出来るので、提出先にあわせた細かい単価の設定が可能です。

コード	名称	標準単価	単価掛率	原価掛率
100	電線・ケーブルV4	単価1	100	100
200	電線管・付属品	単価1	100	100
300	電線管・付属品(V・HIVE)	単価1	100	100
400	ボックス	単価1	100	100
500	ケーブルラック・ダクト	単価1	100	100
600	屋外配線材料	単価1	100	100
700	配線器具	単価1	100	100
800	電力機器	単価1	100	100
900	配電箱・開閉器	単価1	100	100
1000	盤類	単価1	100	100
1100	照明器具	単価1	100	100
1200	換気扇	単価1	100	100
1300	TV・インターフォン機器	単価1	100	100
1400	防災・防犯機器	単価1	100	100
1600	住宅情報機器	単価1	100	100
2100	配管材料	単価1	100	100
2200	配管付属品	単価1	100	100
2300	保温工事材料	単価1	100	100

提出先ごとに設定可能な単価掛率テーブル。
見積書単位にも自由に変更でき、見積書と一緒に保存されます。

リアルタイムに、集計表示

見積書の作成画面で、こうぞ項目別に材料費・経費の金額がリアルタイムに把握できます。

行	コード	品種	名称	仕様	数量	単位	単価	金額	材料費	労務費	諸経費
1	1		電力引込工事		1	式	705,893	705,893	235,749	400,000	70,144
2	2		電灯コンセント設備工事		1	式	968,927	968,927	208,927	760,000	56,300
3	5		照明器具		1	式	760,000	760,000	760,000		
4	3		空調設備工事		1	式	536,250	536,250	536,250		
5	4		インターホン設備工事		1	式	339,000	339,000	262,000		77,000
			合計(見積)				2,900,000	2,900,000	1,303,000		70,144
			合計(原価)				2,471,976	2,471,976	1,210,000		56,300

経費の分類も自社に合わせて設定できます。

意外と便利な電卓入力機能

例えば、明細を入力し終わった時点で、項目の合計が¥599,987だった。あと13円足して、金額をジャストに切り上げよう！

すでに入力されている「雑材・消耗品」の単価の上で「+13」と入力すると、前の単価に13円をプラスします。

コード	名称	仕様	見積数	単位	単価	金額
12004	コンセント	2P15A×1 プラスチックプレート	5	組	172	860
12005	コンセント	2P15A×2 プラスチックプレート	44	組	202	8,888
12008	コンセント	2P15A×2 E種付 プラスチック	8	組	302	2,416
12028	埋込型スイッチ	1P15A×2 プラスチックプレート	6	組	290	1,740
12029	埋込型スイッチ	1P15A×3 プラスチックプレート	5	組	390	1,950
12038	埋込型スイッチ	1P15A×2.PL×2 プラスチック	5	組	936	4,680
12900	雑材・消耗品		1	式	39,896	39,896
24001	労務費		1	式	484,740	484,740

行	項目計	見積数	単位	単価	金額
5	組			936	
1	式			+13	
1	式			484,740	
行 17	項目計			600,000	606,740

単価や数量入力・修正時に、「+」・「-」や「*」(×)・「/」(÷)を使って、訂正できるので、端数の調整も画面上で簡単におこなえます。

金額設定

見積書のトータル金額を設定して一括変更する「金額設定」機能の強化！！

← 変更前と後の単価を比較できます。

← 変更前の見積書を残したまま、新たに変更後の見積書を作成します。

- 見積明細の中で、変更したくない単価を細かく設定可能
- 単価の行数によって設定後の端数処理（10円単位・100円単位等）設定可能
- 変更前の見積書をそのまま残して、変更後の見積書を新たに作成可能
- 新たに試算画面を追加

試算ボタンを押すと、確定する前に、処理前と処理後の明細を比較できます。

行	コード	品名	仕様	数量	単位	単価(前)	単価(後)
1	91000	電力引込工事					
2	91003	以下材料ま 拾い出し表を使用して数量を計算し					
3	1023	薄鋼電線管	CP-25	70	m	143	150
4	1025	薄鋼電線管	CP-39	52	m	227	240
5	1043	ねじなし電線管	EP-25	48	m	125	130
6	91001	小計(範囲を指定して小計が出来ます。)		1			
7	91003	注釈行(計算対象外行)です、コメントが入力でき					
8	1900	同上付属品		1	式	9,750	10,300
9	6005	600Vビニル絶縁電線 IV	2mm2	143	m	21.9	23
10	6009	600Vビニル絶縁電線 IV	14mm2	92	m	136	140
11	6011	600Vビニル絶縁電線 IV	38mm2	71	m	342	360
12	5667	ビニルアルボックス	300×300×200mm	1	個	3,840	4,100
13	5356	アルボックス ステンレス製	400×400×200mm	2	個	15,600	17,000
14	17900	分電盤	L-1	1	面	35,000	37,000
15	17901	分電盤	L-2	1	面	28,000	30,000
16	17902	分電盤	L-3	1	面	37,000	39,000
17	17999	雑材消耗品		1	式	9,770	10,400
18	24001	労務費		1	式	380,000	400,000

撤去費の計算ボタン

- 見積明細入力中に使用できる、撤去費計算ボタンを搭載！

ボタンは2種類

…再利用しない時

…再利用する時

撤去費の計算方法も、自社に合わせて編集可能！

材料の品種毎に、撤去用の歩掛りを計算するための「撤去乗率」を設定可能。

その撤去乗率を使って、複合単価式に撤去費計算用の式を登録できます。

明細入力で、撤去ボタンを押した後、材料を呼び出すと、上の計算式で作成された撤去費（単価）が表示されます。

付属している計算式のサンプル

コード	名称	計算式
1002	撤去費計算用	(M*H*@)*1.12+(B*R)

<<サンプルの計算方法>>

- ①撤去歩掛り=材料の歩掛り×撤去乗数（品種ごとに設定されている）
(再利用する場合としない場合の2種類)
- ②撤去費=（①の撤去歩掛り×労務単価×1.12）+（材料単価×雑材率1）

複合単価ボタン

- 明細入力中に複合単価で入力できます。

複合単価は予め計算式を設定しておき、その計算式を材料の品種（材料の種類）ごと、又は、材料個々に設定しておくことが可能。

入力は明細画面で複合単価ボタン を押すだけ、呼び出す材料は自動で複合単価になります。複合単価の計算式も自社で追加・変更可能。

コード	名称	複合単価計算式	複合原価計算式	歩掛り	歩掛り	計算式記号
1001	材工単価	A+E*C+J*A+K*A	B+E*C+B*J+B*K			A 単価選択
1002	電線・電線管歩掛選択	(B*(1+&)+B*S)*(R+1)+(M*H)*1.12	(G*(1+&)+G*S)*(R+1)+(M*H)*1.12			B マスター単価1
1003	電線・電線管歩掛1	(B*(1+&)+B*S)*(R+1)+(M*D)*1.12	(G*(1+&)+G*S)*(R+1)+(M*D)*1.12			C マスター単価2
1004	補給率なし	(B+B*S)*(R+1)+(M*D)*1.12	(G+G*S)*(R+1)+(M*D)*1.12			D マスター単価3
1005	雑材率なし	B*(1+&)+(M*D)*1.12	G*(1+&)+(M*D)*1.12			E マスター単価4
1006	電線・電線管歩掛2	(B*(1+&)+B*S)*(R+1)+(M*D)*1.10	(G*(1+&)+G*S)*(R+1)+(M*D)*1.10			F マスター単価5
1999	複合単価にしたくない	B	G			G マスター原価
9500	撤去費計算用	(M*H*@)*1.12+(B*R)	(M*H*@)*1.12+(B*R)			H 歩掛選択
						I マスター歩掛1
						J マスター歩掛2
						K マスター歩掛3

豊富な計算機能

労務費・付属品・消耗品・諸経費の算出に便利な計算ボタンが画面上に用意されています。

「労務費」ボタン



そのものズバリ！労務費を算出するためのボタンです。入力された明細の工数（歩掛の集計）を計算し、件名ごとに設定された労務単価を掛けて労務費を算出します。集計された工数や設定されている労務単価もその場で変更し、特定の材料だけの労務費を計算することができます。又、労務費は明細の範囲を指定して、特定の材料だけの労務費を計算することもできます。

「雑材」ボタン

雑1

雑2

材料の種類ごとに率を設定し、その率で入力された明細の雑材額を算出します。品種ごとの率は2種類設定できるので、それぞれの率を使った2パターンの金額を算出することができます。

「範囲×%」ボタン



入力された明細の範囲を指定し、その合計金額（又は原価の合計）に対して掛率を入力し、金額を算出します。例えば、入力した明細の2行目から10行目までの材料の合計金額の25%を「同上付属品」として計上する時などに便利です。又、指定した範囲の数量や歩掛の合計に対して、直接数値を掛けて金額を計算することができます。

「合計×%」ボタン



明細の合計金額に対して掛率を入力し、金額を算出します。材料費の合計・労務費の合計・種経費の合計又は、それぞれの原価の合計に対して計算することもできます。

便利な編集機能

複数の見積書の明細を自由に作成できます。

見積書の明細を自由に移動・複製できます。

工事項目別にした明細も複製したい工事項目を選ぶだけで中の明細の含めて複製できます。

複製・移動は別の見積書にも可能です。

明細を材料コード順に並び替えられます。

図面を見ながら順番を無視して入力された明細を並び替えられます。同じ材料が2行以上ある時は1行にまとめる（数量は加算される）ことも可能！並び替え範囲を指定できます。

掛率による一括変更ができます。

入力された明細の単価・原価・数量・歩掛を範囲で設定した率で1度に変更します。

特定の品番に計算式が設定できます。

例えば、「指定した材料（品種と品番を範囲で指定）の25%」

「材料の合計の5%」

「経費の合計の15%」

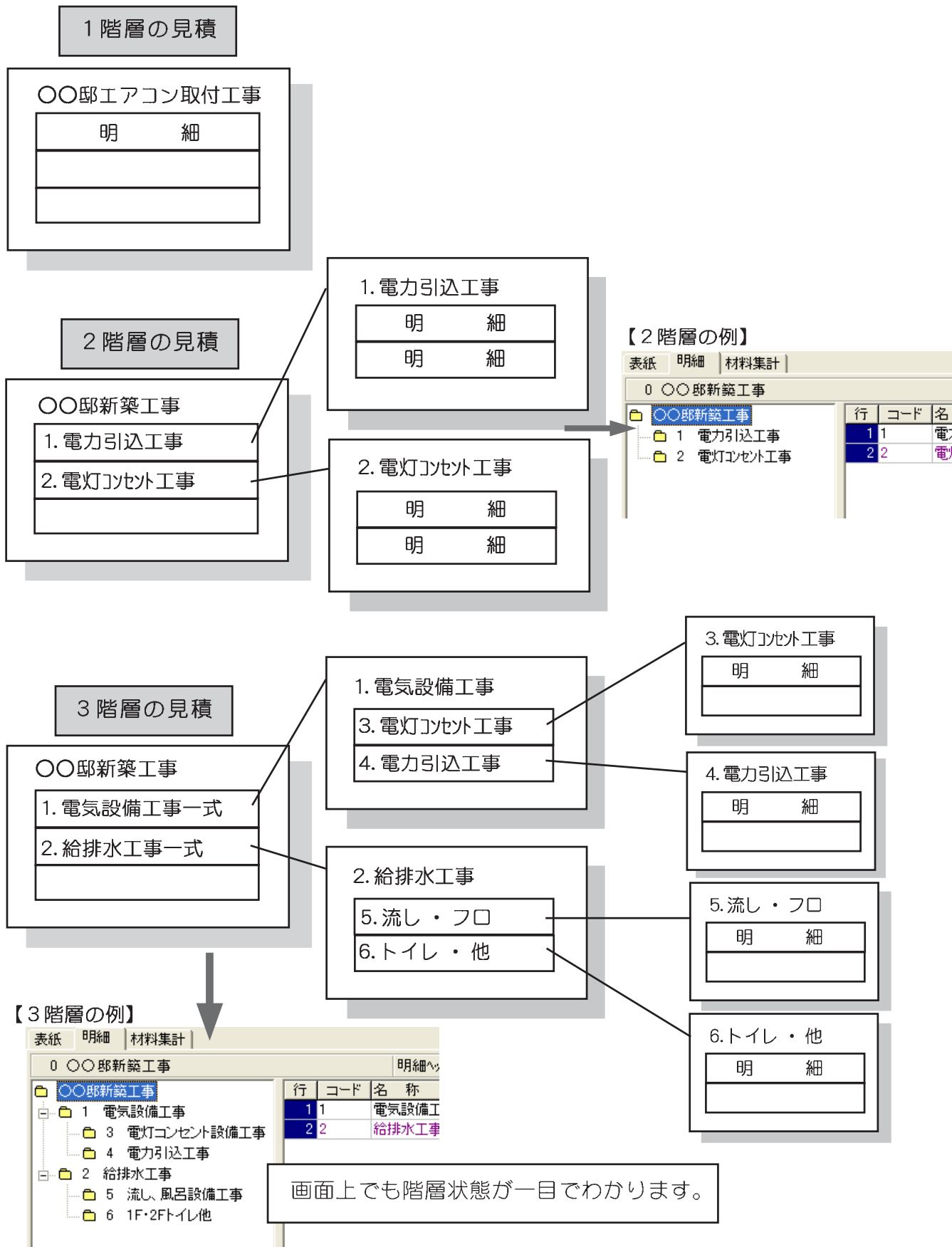
「指定した材料の数量の合計に単価を掛ける（塗装費等）」

「材料の歩掛の合計に労務単価を掛ける（労務費）」などの計算式を特定の品番に指定しておいて、

その品番を入力した時に自動で金額を計算します。

見積明細の多階層化が可能

何階層もの工事項目（工種等）に分けた明細の作成ができます。



見積King Ver.2 特徴及び仕様

保存された件名の一覧表示が可能！！

ファイル名の他に、見積No.・工事名・提出日付等を一覧で表示。それぞれの項目でソートを行ったり、日付や提出先を指定して表示件名を絞り込むことができます。
また、「工事名検索」で、入力した工事名に該当する件名だけを表示させることができます。

The screenshot shows the '見積書一覧' (Estimate List) window. The main table lists estimates with columns for No., File Name, Estimate No., Work Name, Submission Location (Up/Down), and Submission Date. A '工事名検索' (Work Name Search) dialog box is open, allowing users to search for specific work names. A tree view on the right shows a hierarchical structure of estimates. A '検索後' (After Search) window shows the results of a search for '△△△部'.

ツリー表示も可能

検索後

表示設定で、一覧表示する件名を絞り込むことができます。

件名一覧表の印刷

The screenshots show the '件名一覧表' (Item List Table) in two views. The left view shows a detailed list of items with columns for file name, estimate number, work name, and amount. The right view shows a summary table with columns for file name, estimate number, work name, and total amount.

見積No.	提出先(上)	金額	種別
サンプル4	△△△部	¥1,329,328	△△△部
サンプル5	△△△部	¥1,329,328	△△△部
サンプル6	△△△部	¥1,329,328	△△△部
サンプル7	△△△部	¥1,329,328	△△△部
サンプル8	△△△部	¥1,329,328	△△△部
サンプル9	△△△部	¥1,329,328	△△△部
合計		¥8,575,968	

印刷では、見積金額なども出力できます。
例えば、表示設定を使用することで「1ヶ月間に提出した見積書の中から、受注できた件名と合計金額を印刷する」などの出力が可能になります。
印刷のレイアウトは自社に合わせて自由に作成できます。

材料集計画面

見積書の明細を材料別に集計します。
 材料の品種ごとの小計もとる事ができます。 グラフ表示も可能！

The screenshots show the 'Material Collection' (材料集計) interface. The top window displays a table of materials with columns for code, name, quantity, unit, and price. A pie chart below shows the distribution of materials. A second window shows a summary table of materials, including '電線・ケーブル' (Cables) and '配線器具' (Wiring equipment).

工事項目別の明細は全項目を対象に集計をかけたり、集計したい工事項目を指定し、集計できます。(複数の項目の選択可能。)
 一度集計をとった後でも、見積明細の修正や追加を行った後集計画面に移ると、集計画面も再度集計を行わなくとも自動で更新されます。

発注書の印刷が可能！！

The screenshot shows the 'Order Entry' (発注) screen. It features a table with columns for 'Supplier' (発注先), 'Supplier Name' (発注先名), and 'URL'. A dropdown menu is visible at the bottom, allowing the user to select a supplier from a list.

明細入力画面で発注先を入力しておく、材料集計画面でその発注先を選ぶことにより発注書を印刷できます。

This screenshot shows the material collection table with a dropdown menu for selecting a supplier. The dropdown menu lists several suppliers, and the selected one is highlighted.

材料集計表で発注先を選ぶと、選ばれた発注先の明細が画面に表示されます

The screenshot shows a printed order form (発注書). It includes the supplier's name, address, and contact information. Below this, there is a table listing the materials to be ordered, including their names, specifications, quantities, and units.

発注書はレポートエディタで自由に設計できます。

見積 King Ver.2 特徴及び仕様

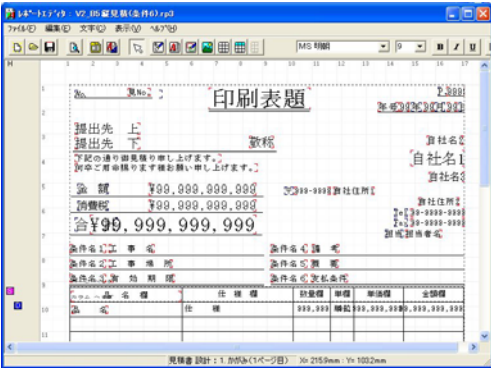
見積書をはじめ、原価明細書・材料集計表の資料の印刷も、

自社にあわせて自由に設計できます。
 帳票設計に便利な「レポートエディタ」を用意！

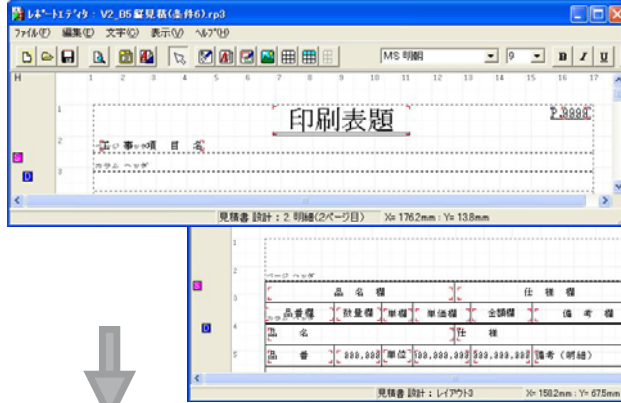
すべてフリーレイアウト！

見積書設計例

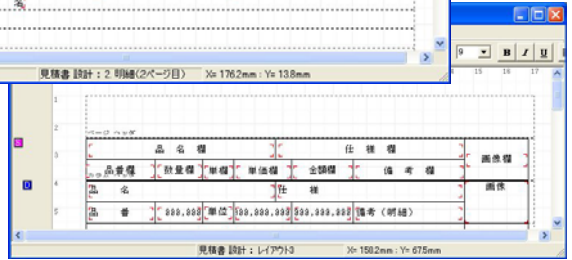
1 P



2 P



3 P



御見積書

△△△建設株式会社 御中
 △△△営業所
 金額 ¥2,800,000
 消費税 ¥145,000
 合計 ¥3,045,000

項目名称	数量	単位	金額	備
電力引込工事	1	式	750,000	
電灯コンセント設備工事	1	式	880,000	
照明器具	1	式	750,000	
空調設備工事	1	式	330,000	
インターホン設備工事	1	式	120,000	
合計			2,800,000	

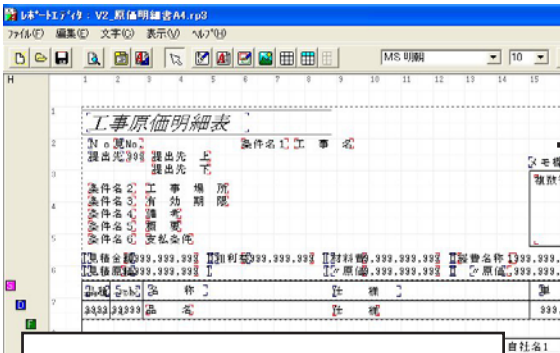
内訳明細

品名	仕様	数量	単位	金額	備考
電力引込工事					
電力引込工事	以下資料にない出し表を使用し1数量を計算しています。				
深層電線管	2F-2S				
おなじみ電線管	2F-2S				
小計 (前項を指定して小計が出来ます。)					
注釈行 (計算対象外行) です。コメントが入力できます。					
地上引込品					
000Y*3線電線 IT	2F-2S	3m			
000Y*3線電線 IV	14m				
000Y*3線電線 IT	3m				
1"φ*3"φ*3"φ	300×300×300mm				
1"φ*3"φ*3"φ	400×400×300mm				
分電盤	2-1				
分電盤	2-2				
分電盤	2-3				
材料消耗品					
労務費					
運搬費					
合計				750,000	

内訳明細

数量	単位	品名	仕様	金額	備考
1	個	70,000	180,000	LF2710	
1	個	12,000	80,000	LT6072	
1	個	50,000	177,000	BF2704	
1	個	20,000	80,000	LB1005	
1	個	50,000	270,000	BF4072	
合計				760,000	

原価明細表設計例



工事原価明細表

△△△建設株式会社 御中
 △△△営業所
 金額 ¥2,800,000
 消費税 ¥145,000
 合計 ¥3,045,000

品名	仕様	数量	単位	金額	備考
電力引込工事					
電灯コンセント設備工事					
照明器具					
空調設備工事					
インターホン設備工事					

見積書をはじめ、
 原価明細表・材料集計表・発注書
 件名一覧表・品名マスター一覧表の
 資料関係も、自社に合わせて製作
 できます。

「明細グリッド」機能搭載！

印刷したい明細の項目を選択するだけで、簡単に表の作成が出来ます。

見積書をエクセルのファイルに直接出力可能

B 5 縦・横、A 4 縦・横、表紙別など、8パターンの見積書フォーマット（出力パターンは固定）でエクセルファイルに出力できます。

出力パターン

- A 4 横備考つき（表紙別）
- A 4 横
- A 4 縦備考つき
- A 4 縦
- B 5 縦
- B 5 横備考つき
- B 5 横備考つき（表紙別）
- B 5 横

- 罫線を付ける／付けない
- 改ページをする／しない
- 工事項目をエクセルのシートごとに「わかる／わからない」の指定が可能

出力例

- B 5 縦

仕種	数量	単位	単価	金額	
35mm	189			6,615	
15mm	299			4,485	
40mm	116			4,720	
3mm					15,820
1式	7,647			7,647	
mm2	70		65	4,550	
mm2	50		114	5,700	
mm2	85		174	14,790	
mm2	40		277	11,080	
mm2	25		434	10,850	
×30	35		1,485	51,975	
22mm2×30	2	種	15,210	30,420	
50mm	1	個	2,890	2,890	
50mm	2	個	6,240	12,480	
1面	25,000			25,000	
分電盤	L-2		45,000	45,000	
分電盤	L-3		150,000	150,000	
材料・消耗品	1式		45,918	45,918	
労務費	1式		408,500	408,500	
運搬費	1式		30,000	30,000	
見積総費	1式		116,500	116,500	
合計				999,820	

- B 5 横備考つき（表紙別）

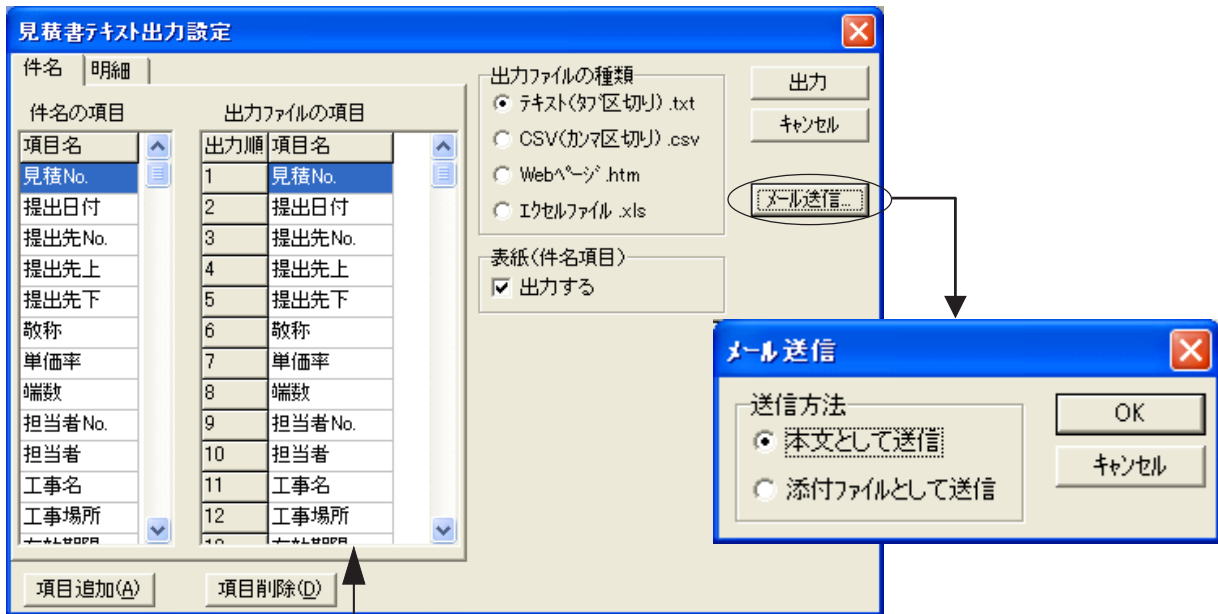
項目名称	数量	単位	金額	備考
電力引込工事	1式		984,000	
電力コンセント設置工事	1式		620,000	
空調設置工事	1式		270,000	
インターホン設置工事	1式		466,000	
合計			2,340,000	

※ 注意

- セル幅やフォントサイズなどの出力レイアウトは固定となっていて、出力時に変更はできません。
- 改ページをおこなった時の1ページの行数は、それぞれのパターンで固定となっていて変更できません。
- 社名は、「自社名マスター」を使用します。
- マイクロソフト社のエクセルがインストールされている必要があります。

見積書のテキスト出力とメール送信

見積書をテキスト形式でファイルに出力できます。出力した見積書のメール送信もできます。

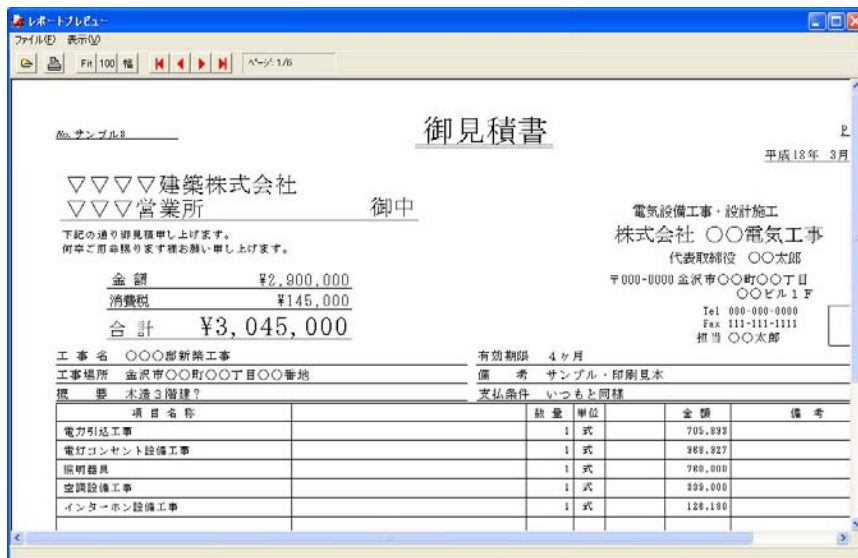


テキスト出力する項目と出力順を設定できます。

見積書印刷イメージファイルの出力

見積書の印刷イメージを、そのままファイルに出力できます。

出力されたイメージファイルは、見積kingがはいっていないパソコンでも付属の専用ソフトでプレビューと印刷が可能です。



専用ソフトは、単体で起動し、あらかじめインストール等の操作は必要ありません。

専用ソフトは配布も自由なので、見積書の提出先に提出する見積書のイメージファイルと専用のソフトをメールで送れば、先方でプレビュー・印刷が可能です。

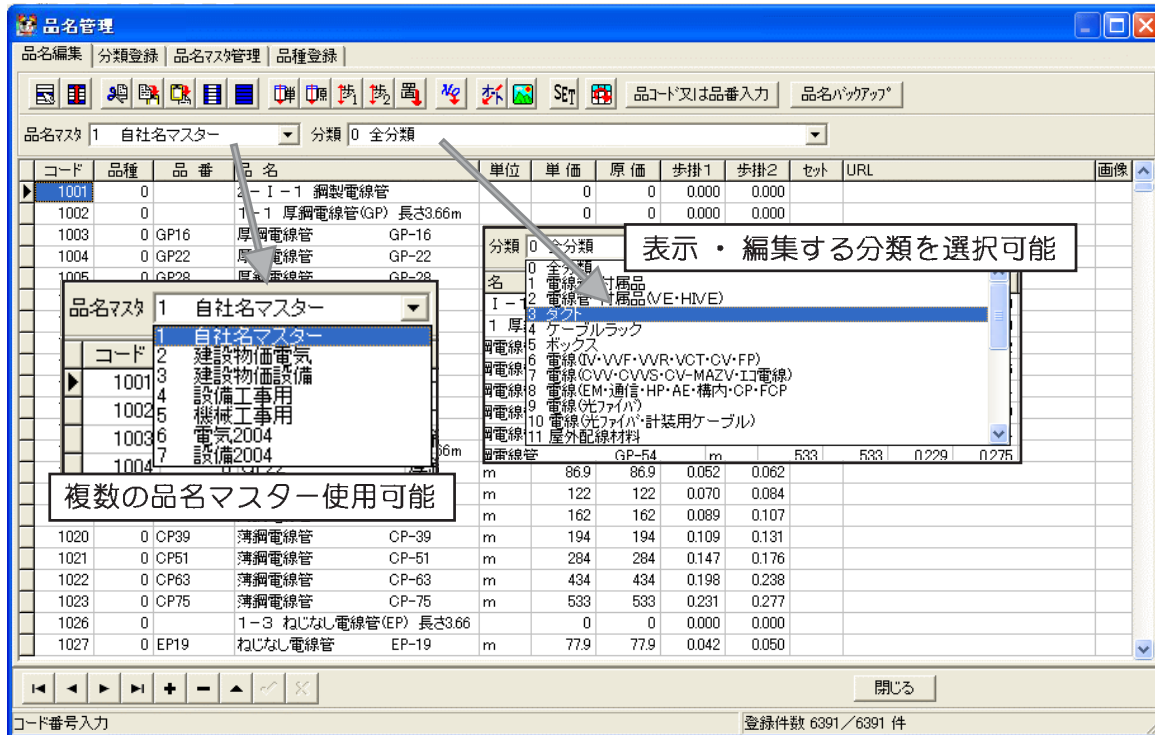
イメージファイルは、イメージデータ（画像データ）として、保存されているので、中の値を変更することも出来ません。

豊富な品名マスター

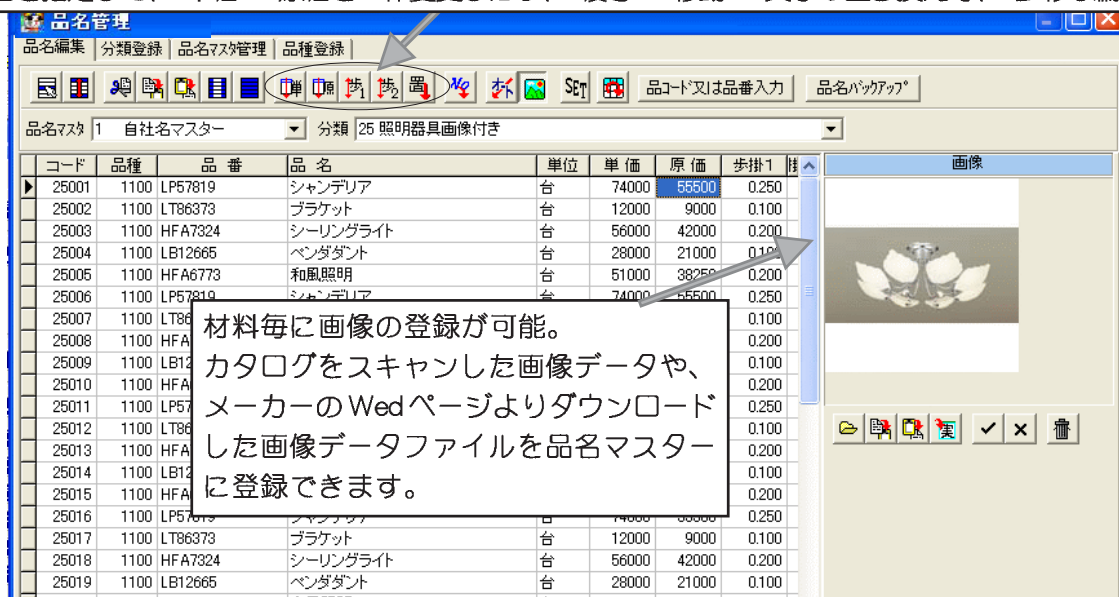
明細入力時に「材料ガイド」で表示される品名マスター（材料・経費の名称や価格をあらかじめ登録しておくマスター）は、

- ・ 最大90分類（分類方法は自由。例えば、材料の種類別に分類したり工事の工種別に分類したり、ユーザーにあわせて変更できます。）
- ・ 1分類に999材料を登録できます。

さらに、複数の品名マスターを用意し、見積書作成中に品名マスターを交換し、材料を呼び出す事ができます。画面は、表入力形式で追加・修正でき、単価の変更も簡単に行えます。



範囲を指定して、単価・原価を一律変更したり、複製・移動・文字の置き換え等、多彩な編集機能を搭載



その他、品名マスターのテキスト入出力が可能！

別のマスターの一部を他のマスターの任意の場所に複製できます。

建設物価ファイル入力

財団法人建設物価調査会が提供している「建設物価データベース」を品名マスターに入力できます。

入力可能なデータファイルの種類は、「単価データファイル」（「土木資材編」「建設資材編」「電気設備編」「機械設備編」）のみです。

「建設物価データ入力」では、「品名テキストファイル入力」と違い、すでに品名マスターに建設物価データが登録してある場合は、単価のみ更新します。

登録が無い品目は、「建設物価コード→分類コード」の変換テーブルを元に、自動的に品名マスターに追加します。

単価の更新は、品名マスターの品番の欄に記入されている番号と、建設物価の品目コードが一致した品名单価のみ行います。

建設物価データ入力

新規追加用変換テーブル 建設物価コード→分類コード

No.	建設物価コード	分類コード
1	40-01-01 ~ 40-01-03	→ 1 ~ 1
2	40-01-04 ~ 40-01-06	→ 2 ~ 2
3	40-01-07 ~ 40-01-08	→ 3 ~ 3
4	40-01-09 ~ 40-01-10	→ 4 ~ 4
5	40-01-11 ~ 40-01-12	→ 5 ~ 5
6	40-01-13 ~ 40-01-16	→ 6 ~ 6
7	40-01-23 ~ 40-01-30	→ 7 ~ 7
8	40-03-01 ~ 40-03-01	→ 7 ~ 7
9	40-01-37 ~ 40-01-42	→ 8 ~ 8
10	40-03-03 ~ 40-03-17	→ 9 ~ 9
11	40-03-20 ~ 40-03-20	→ 9 ~ 9
12	40-03-23 ~ 40-03-25	→ 9 ~ 9

更新対象の品名マスター
建設物価電気設備サン
D:\mking_v2\建設物価電気#

入力ファイル
未選択
[ファイルを選択...]

入力ファイルの種類
 CSV
 固定長コード

品名、仕様、単位の更新
 する
 しない

品名ファイル更新オプション
 外部コードでマッチング
 品番でマッチング

処理結果
 読込件数
 更新件数
 追加件数
 未処理件数
 [未処理表示]

建設物価コード (大-中-小) 分類コード
 ~ ~

[追加] [修正] [削除]

[更新] [キャンセル]

建設物価コードの変換テーブルは、各マスターごとに設定できます。

サンプルとして、電気設備と機械設備用の2種類の品名マスターが付属します。サンプルには、変換テーブルと品名マスターの分類が設定されています。建設物価データベースは含まれていません。

付属の品名マスター

電気工所用 品名ディスク 電気設備工事 積算基準実務マニュアル2006
 (約6000点) 全日出版社

仕様一覧表

■は見積エースと共通の仕様、★は見積kingのみの仕様

機能	仕 様	
件名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 見積No. : 12文字 ■ 日付 : 年号2文字 ■ 提出先 : 漢字32文字×2行 (住所・TELの設定・単価率の設定可能) ■ 敬称 : 御中・様・殿・その他に選択可能 (「その他」を任意の文字に選択可能) ■ 担当者 : 漢字10文字以内 ■ 工事名 : 漢字32文字 (タイトル「工事名」を任意の文字に変更可能) ■ 工事場所 : 漢字32文字 (タイトル「工事場所」を任意の文字に変更可能) ■ 有効期限 : 漢字32文字 (タイトル「有効期限」を任意の文字に変更可能) ■ 備考 : 漢字32文字 (タイトル「備考」を任意の文字に変更可能) ■ 概要 : 漢字32文字 (タイトル「概要」を任意の文字に変更可能) ■ 支払条件 : 漢字32文字 (タイトル「支払条件」を任意の文字に変更可能) ■ 受注区分 : 受注・失注・未定の区分 ■ 労務単価 : A～Eの5種類 ■ 消費税 : 自動計算する・しない、消費税込みの設定。率・端数処理の設定可能 ■ メモ欄 : 漢字32文字 ■ 自社名 : 印刷時の社名を選択可能 ★ 単価率 : 材料の種類 (品種) ごとに見積単価率・原価率を設定可能 	
明細入力	入力画面	<ul style="list-style-type: none"> ■ 項目は最大199項目 ■ 見積合計金額は最大999億まで
	入力項目	<ul style="list-style-type: none"> ■ コード (品名コード番号) : 5桁以内 ■ 品種 : 0～9999 ■ 品番 : 半角16文字文字 ■ 名称 (品名又は工事項目名) : 漢字32文字 ★ 仕様 : 漢字32文字 ■ 数量 (見積数及び原価数) : 最大6桁 (小数点以下最大3桁) ■ 単位 : 漢字2文字 ■ 単価・原価・項目計・小計 : 最大10桁 (少数点以下最大1桁) 99億 ■ 歩掛 : 999.999 ■ 備考 : 漢字15文字 ■ 発注先 : コード4桁、商品の発注先を明細単位に指定可能 ■ 雑材率 : 0～999 (%) ★ 単価・歩掛名称 : 全角15文字 ■ 単価・金額欄に文字入力可能 (漢字6文字以内) ■ 小計行 : 小計金額を算出する行の範囲で設定 ■ URL : 半角128文字 ■ 画像 : 画像ファイルを登録可能
	編集機能	<ul style="list-style-type: none"> ■ 明細行の範囲を指定した移動・複写・削除・単価・原価・数量の一括変更、明細の並び替え、編集機能 ■ 別の工事項目や他の見積書への明細の複写 ■ 一括処理後のアンドゥ機能 ■ 入力する項目や順番を自由設定 ■ 明細入力中の品名登録、自動品名マスター登録可能 ■ 数量や単価だけを縦に修正できる表形式入力可能
	計算機能	<ul style="list-style-type: none"> ■ 明細範囲を指定し、単価・原価・数量・の掛率による一括変更 ■ 指定した明細範囲の合計金額 (又は数量の計) に対して掛率による金額算出 (付属品・雑材計算等) ■ 合計金額を設定した単価・原価の一括変更 ■ 変更前と後の単価を比較する試算画面を表示可能 ★ 全ての明細を対象に材料の分類 (品種) を指定して、一律に単価の変更可能

品名編集	品名構成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1品名マスター内を90に分類、1分類に999の商品登録可能 ■ 品名マスターを最大2000マスター同時運用可能 ■ 同一商品を重複登録可能（提出先別マスター等）
	登録項目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 品種コード：4桁（材料の分類） ■ 品名コード：5桁 ■ 品番：16文字 ■ 品名：漢字32文字 ★ 仕様：漢字32文字 ■ 単位：漢字2文字 ★ 単価：5種類・原価1種類：8桁+少数点以下2桁 ★ 歩掛：5種類：最大999.9999 ★ 雑材・消耗品率：0～999（%） ★ 補給率：0～99.99 ★ 登録年月日・修正年月日・生産中止年月日 ★ 複合単価式（複数登録可能） ★ 外部コード：建設物価データベースのコード等を使用 ★ URL：128文字 ★ 画像：画像ファイルを登録可能
	編集機能	<ul style="list-style-type: none"> ■ ブロック単位に移動・複写・削除・挿入・印刷可能 ■ 単価・原価の掛率による一括変更可能 ■ 編集中の品名マスターから、別の品名マスターへの複写可能 ■ 品名・品番・単位内の文字を置き換え ■ 編集中の品名マスターのバックアップボタン搭載 ★ 組合せ品番及び、セット呼び出し用品番の設定可能（1つの品番「親品番」に最大10個の品番「子品番」を設定し、明細入力画面で親品番を呼び出すと指定された品番が呼び出される）
	コンバート	<ul style="list-style-type: none"> ■ 品種マスターとテキスト型式ファイルに入出力できます。 ■ 建設物価データベース（単価データファイル）を品名マスターに変換できます。 ■ 見積king Ver.1、見積エースWindows版、見積エースDOS/V版で作成された品名をファイルを変換できます。
	品種	<ul style="list-style-type: none"> ■ 複合単価式の設定可能 ■ 付属品・消耗品の率を設定可能 ■ 品種は1品名ごと又はマスターの1から90の分類ごとに設定可能 ★ 数量の補給率を設定可能 ★ 単価5パターンの名称・歩掛り4パターンの名称を設定可能 ★ 撤去乗率1・2（0～99.99）
印刷・設計	<ul style="list-style-type: none"> ■ レイアウトは自由設計 ■ 1ページ目と2ページ目以降の別設計可能(工事項目別に設定可能なレイアウトを5パターンまで設計可能) ■ 絵（ビットマップ）が貼り付け可能 ■ 罫線が自由に引ける ■ 品名欄に入力した文字を2つに分けてレイアウトができます（品名1と品名2に分ける時） ■ 豊富なサンプル印刷フォームを用意 ■ 明細の罫線と中に印刷する項目を同時に配置できる「明細グリッド」搭載 	
件名管理	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保存された件名の一覧表示・印刷が可能（フォルダ単位） ■ 表示・印刷は受注区分・見積区分・提出日付・提出先・担当者・自社名・ファイルの種類等で絞り込みできます ■ 指定したフォルダ下のサブフォルダ内の見積書も同時に表示が可能 ■ 一覧表の印刷フォームをレポートエディタで自由設計可能 ■ 件名の名称によるあいまい検索可能 ★ フォルダのツリー表示が可能 	
資料他	原価明細表	<ul style="list-style-type: none"> ■ 印刷項目の設定可能（自社に合わせた明細表の印刷が可能）
	材料集計表	<ul style="list-style-type: none"> ■ 明細に入力された商品を品種ごとに集計し、画面表示します。 ■ 集計結果を円グラフで表示可能 ■ 印刷項目の設定可能（自社に合わせた明細表の印刷が可能）

発注書	<ul style="list-style-type: none"> ■ 明細 1 行ごとに発注先の指定が可能 ■ 材料集計時に発注先を指定し、発注明細の表示・印刷が可能 ■ 印刷する発注書は、レポートエディタで自由設計 ■ 発注明細をテキスト出力やメール送信可能
入出力	<ul style="list-style-type: none"> ■ 見積書の表紙・明細の項目を指定して、テキストファイルに出力可能 ■ テキストファイルをダイレクトにメール送信可能 ■ 見積書をMicrosoft Excelファイルに直接出力可能 ■ 印刷イメージをファイル出力可能、出力したイメージファイルをプレビュー・印刷可能なソフトウェアを提供 ■ 見積書の保存時に、印刷に使用したレポートファイル(印刷の設計ファイル) も同時に保存可能
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 工事項目名称・提出先・担当者・備考・単価・計算式・複合単価式・条件名・明細印刷ヘッダ・発注先・建設物価単位・品種名称・印刷設定・自社名の登録可能 ■ 見積明細画面、品名登録画面、表紙画面のフォントとサイズを指定可能 ■ 材料ガイド、コードガイドのフォント、フォントサイズ、フォント色、背景色、選択色を設定可能 ■ 明細画面の入力項目と幅と画面に合わせて変更可能 ■ 見積書を直接メール送信可能 ■ 編集中の見積書の自動バックアップ機能 ★ 提出先マスター (提出先ごとに見積単価の掛率、品種毎の単価率テーブルを設定可能) ★ 図面から拾い出した数量を入力し集計する拾い出し表を搭載。(印刷可能)

動作環境

対 応 機 種 : Microsoft Windows 9 5 / 9 8 / Me / xp 日本語版

又は Microsoft Windows 2 0 0 0 / NT 4 . 0 日本語版が稼動する機種

本体 p e n t i u m II 4 0 0 以上を推進

メ モ リ : 1 2 8 MB 以上を推進

ハードディスク : 1 GB 以上の空き容量

ディスプレイ : 1 0 2 4 × 7 6 8 以上(2 5 6 色以上)を推進

「見積エース」から「見積KING」への乗り換え時の注意！

「見積king」は、「見積エース」を大幅に機能UPしたシステムですが、下記の仕様が変更されています。

1. 「品名・名称」欄と「仕様・規格」欄の分離
見積エースでは、1明細に「品名・仕様」欄は1つで漢字32文字でしたが、見積KINGでは「品名」と「仕様」が分離し、それぞれ漢字32文字まで入力できます。
そのため、明細1行の幅が長く必要になって、見積エースでは可能だったB5・A4の縦の見積書のレイアウトが見積KINGでは難しくなっています。
2. 原価管理システムやCADとの連動
見積KINGでは、工事原価管理システムとの連動はできません。
3. 「見積KING」の登録単価
見積KINGの品名マスターには、1材料あたり単価が5パターン・歩掛り5パターンと増えたため（見積エースは単価1・部掛り2種類）、見積明細の入力時や修正時に単価・部掛りの種類を選択する必要があります。
複合単価や自動計算式の設定も、複数単価に対応してアイテムが増えています。
1材料に単価を複数必要ない場合は、見積エースに比べて、逆に操作が煩雑になりますので注意してください。
4. 見積書の互換性
見積エースで作成された見積書は見積KINGで読み込む事ができますが、見積KINGで作成された見積書は見積エースでは読み込みできません。
見積KINGで読んだ見積エースの見積書は、品名と仕様欄は分かれず、すべて品名（名称）欄に記入されます。（仕様欄は空白）
見積エースで使っていた品名マスターは、見積KINGのマスター変換機能でコンバートできます。
このときに、見積エースの品名マスターの「品名欄」を見積KINGの「品名欄」と「仕様欄」に分離してコンバートが可能です。
ただし、どこで分離するかは、品名欄の中の「_」（アンダースコア）又はスペースを見るので、分離したい個所にスペースや「_」（アンダースコア）が登録されていないと、正常に分離されません。
見積KINGで作成された品名マスターは見積エースでは使用できません。
5. パソコンの画面解像
見積エースに比べ、見積KINGでは、明細入力や品名マスター・提出先等の登録の画面で、表示するアイテムが大幅に増えたので、1024×768以上の解像度がないと使いにくくなります。

開発元：有限会社アクセスソフトウェア

サポートセンター

〒921-8011 金沢市入江3丁目132番地 福村ビル202

TEL(076)291-9040 FAX(076)291-9098

ホームページアドレス

<http://www.access-soft.co.jp/>